







これもついでに  
整理お願いねー

はい…

パチュリー様…!

パチュリー様  
いいニオイ  
だったな…

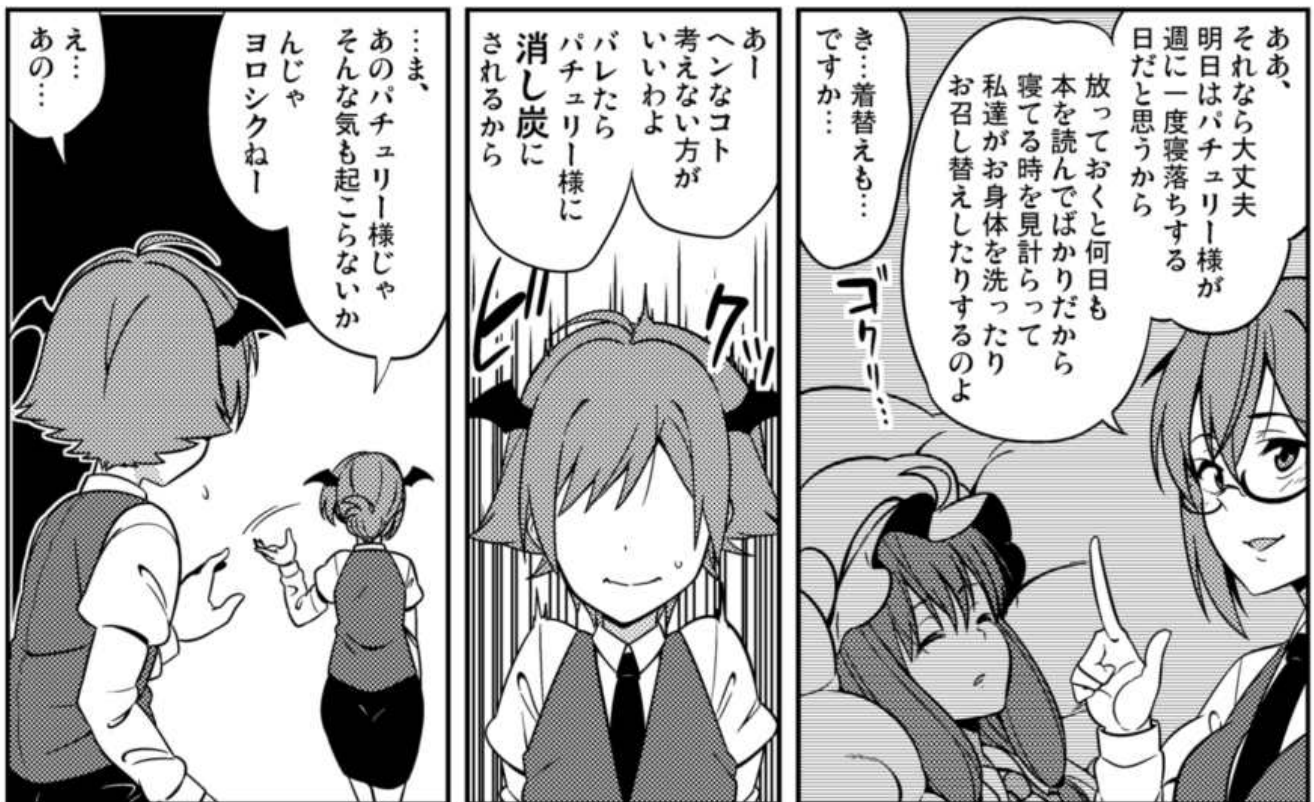
側近のお世話担当  
ってどんな仕事  
してるんだろう…

また僕に仕事  
押し付けて…

あー

プッ  
アッ

プッ  
アッ





なんだかんだ  
引き受けちゃったけど…



本当に寝てる…

パチュリー様の  
寝てる姿初めて  
見たな…



えっと…  
まずは服を  
脱がせなきゃ…

大丈夫これは  
お仕事なんだ…  
決してやましい  
ことは…

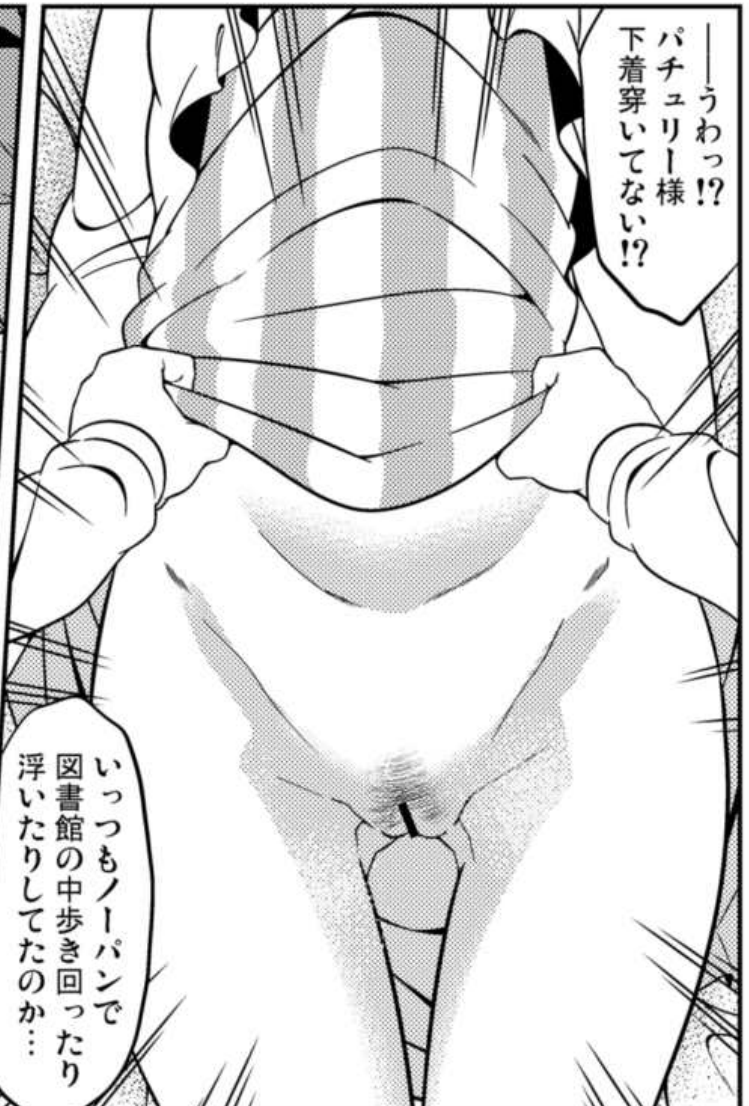


まくり

あしり

—うわっ!?  
パチュリー様  
下着穿いてない!?

いっつもノーパンで  
図書館の中歩き回ったり  
浮いたりしてたのか…



パチュリー様の…  
メスのおいが強い…

あわあわ…

お世話担当が替えるまで  
服も洗わないんだろうな…



とうとう全部  
脱がせてしまった…



パチュリー様…  
服を着てた時から痩せてそうだと  
思ってたけどこんなに細かったのか…



僕がパチュリー様を裸に…

は…

は…

いやいやいや  
何考えてるんだ



早く仕事  
しなきゃ…

全身の…  
隅々まで  
キレイに…





うわっ…!  
こんな細いのに  
おっぱいちゃんと  
やわらかい…!

すごい  
ふにふにしてる…

も、もう  
我慢できない…っ

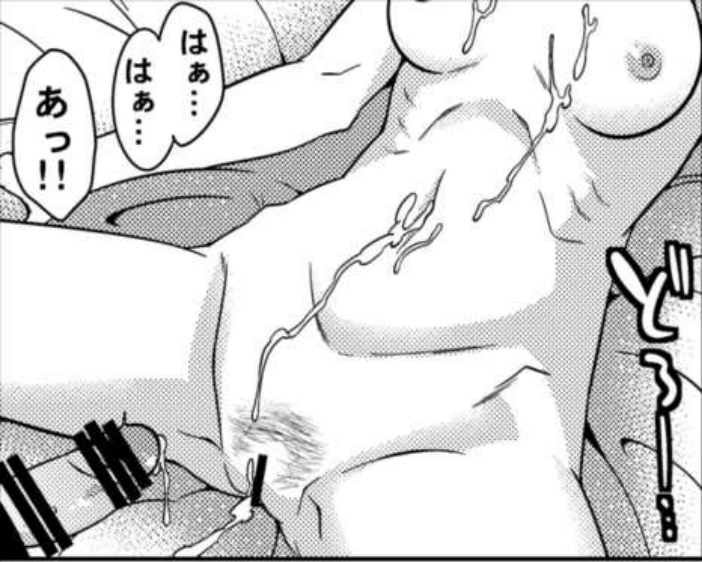
ごめんなさい  
パチユリー様っ!!  
今回だけ…  
一回だけですからっ!!  
は、あ、  
は、  
おかずにしちゃって  
ごめんなさいっ!!

あの知的で近寄り難い  
パチユリー様が僕の前で  
おっぱいもおまんこも  
無防備に晒け出して…っ

あ、もう  
射精ちゃう…!!

もっと…もっと  
近くで—









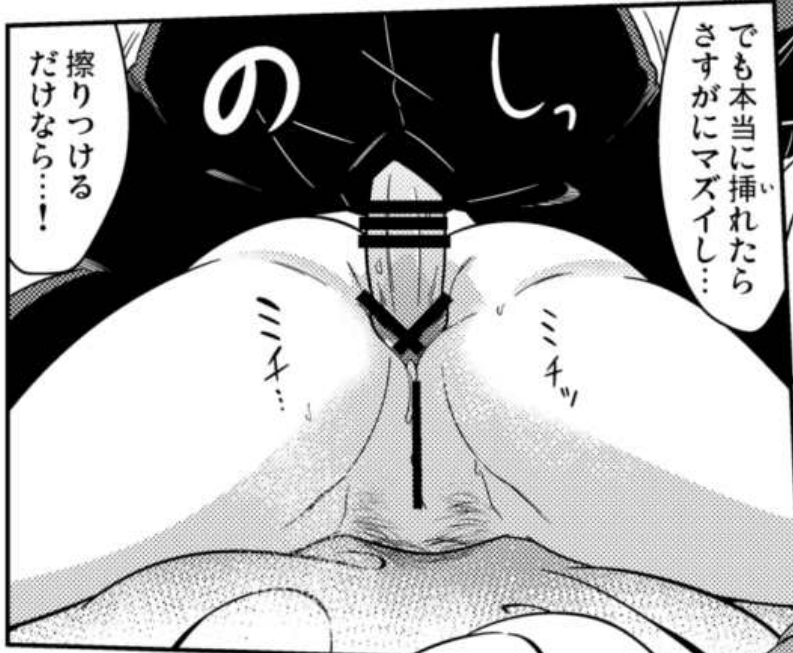
ここに挿れたら  
気持ちいいん  
だらうなあ...

みちゃん

わあ、  
パチュリー様お肉が少ないから  
後ろからでも丸見えだ...!



...まあくれぐれも  
バレないようにね?



擦りつける  
だけなら...!

のし

ミク...

ミク...

でも本当に挿れたら  
さすがにマズイし...

はい...!



でも挿れてないから  
大丈夫ですよ...ねっ!?

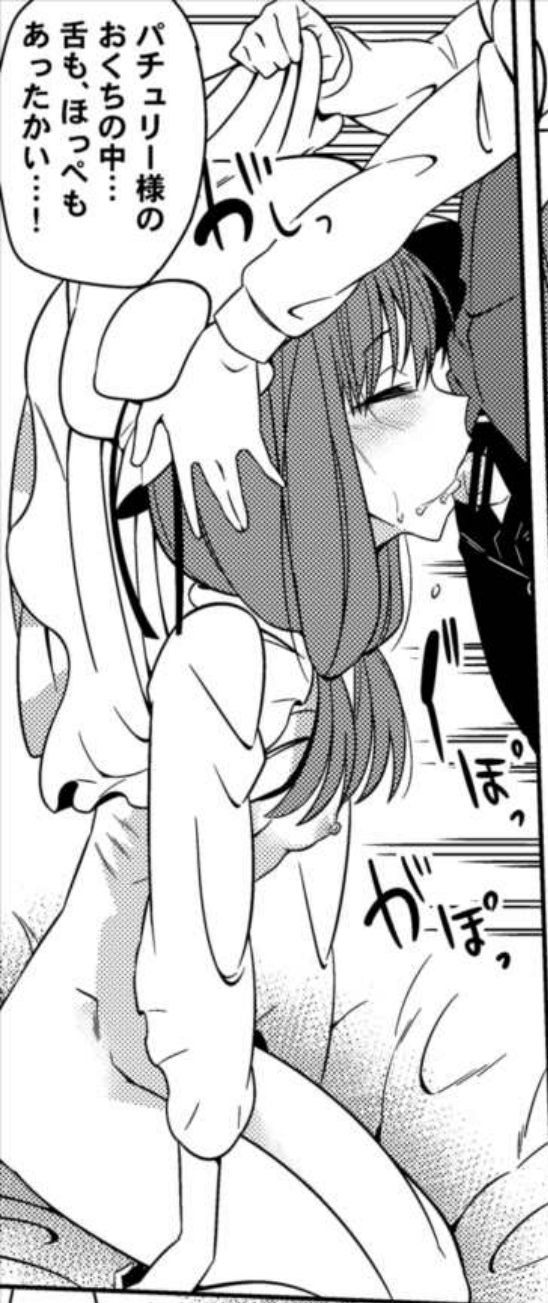
パチュリー様の  
股間すごく熱い...っ  
寝てるから  
体温上がって  
るのかな...?

ああっ  
ごめんなさい  
パチュリー様!  
結局また  
こんな  
ことを...!

びゅん

びゅん

びゅん



パチユリー様のおくちの中…舌も、ほっぺもあったかい…!!



今日はお口を拝借しますね〜

パチユリー様のくちびる唇やわらかい…

あっああ…僕のおちんちんがパチユリー様に食べられてく…っ!!



バレないよなこれ…

あ、しまった思いっきり口の中に…



も、射精ちゃー

おくちで受け止めてパチユリー様っ!!





パチュリー様のおみ足…!!

はあ…はあ…今日は少し趣向を変えて、

この足を使わせてもらいますね…!!

寝る時まで靴も履きっぱなしだからすっごい蒸れてる…

あ…

むあ



ああっすこい…僕のおちんちんがあのパチュリー様の足裏に包まれてる…

パチュリー様の身体余すところなく気持ちいいよおっ!!

ちゅっ



で、出る…っパチュリー様の足コキで…っ!!

うっ…!!



ごめんなさいパチュリー様!

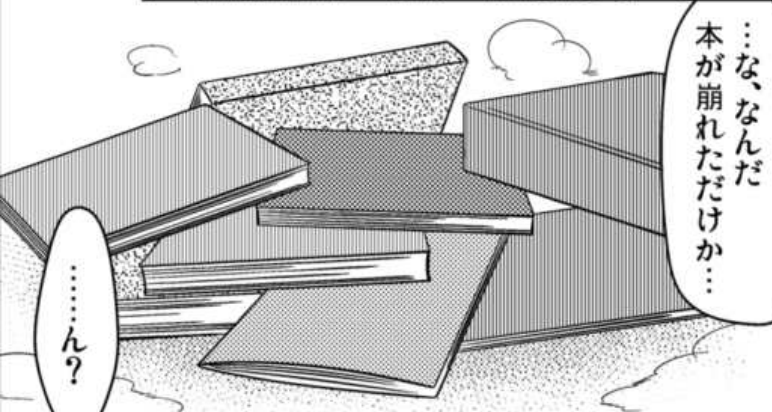
後でちゃんとおみ足もキレイにしますから…っ!!



えへへ、  
さあ今日も  
脱ぎ脱ぎ  
しましょう  
ねえ……!!



っ!?



…な、なんだ  
本が崩れただけか…

……ん?



はあく…普段以上に  
パチュリー様のお  
おいが濃いなあ

今回はパチュリー様が  
なかなか寝付いて  
下さらなかったから  
恋しかったんですよー



もしかして  
パチュリー様も  
えっちなこと  
に興味があった  
のかな…?



これって外の世界の  
春画本じゃ…?

どうしてこんな物が  
パチュリー様の机に…

のーん…



「こ、これはもう  
合意ってことで  
いいですよね…?」  
パチュリー様も  
ずっとこうしたかった  
んですよ…?」

「うう…  
キツイ…!」  
みち  
みち

ん…く…っ  
は、  
挿入ったあ…っ…!

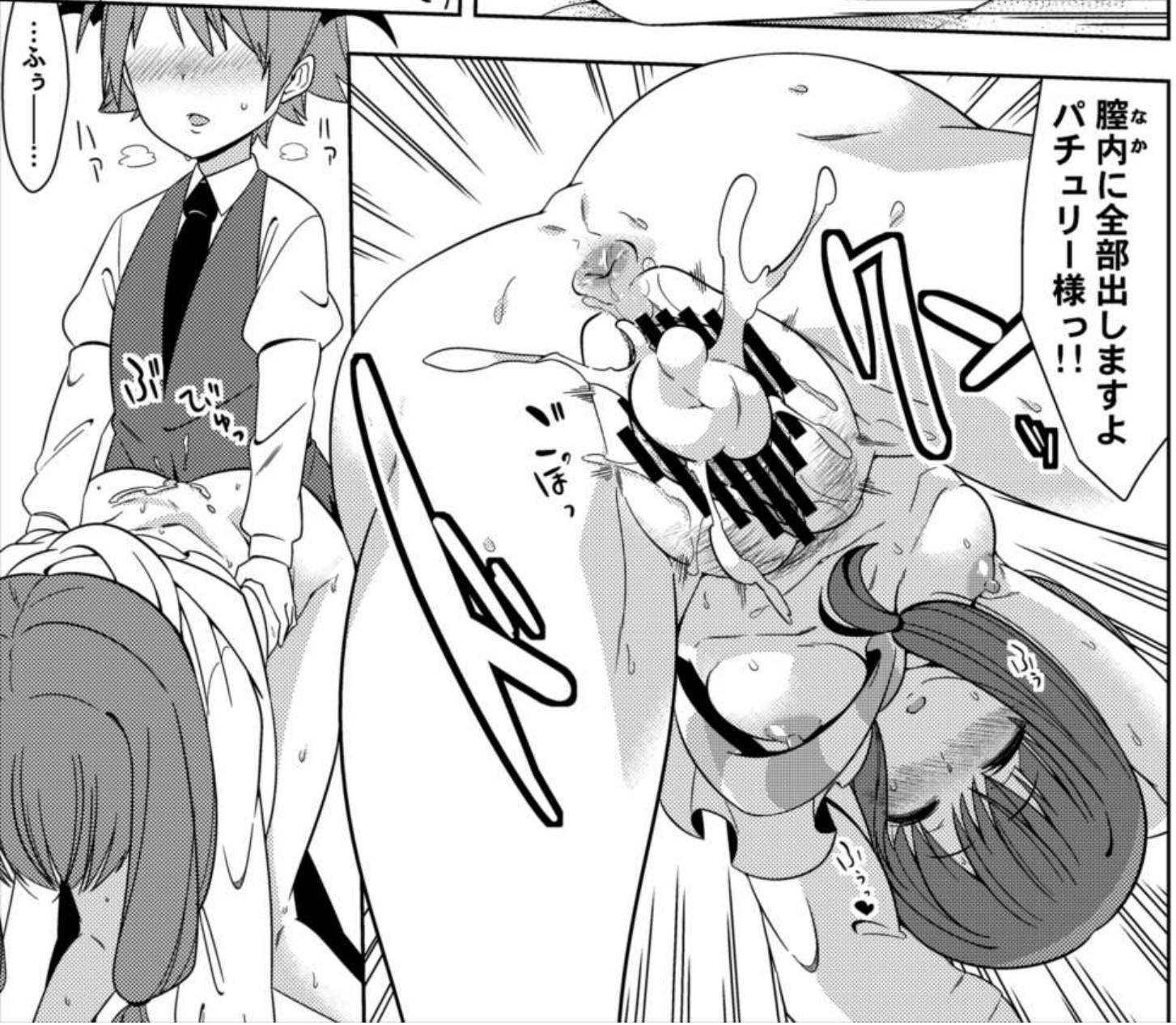
「わあ…すごい  
吸いつかれる…っ」  
みち

「とうとう—  
パチュリー様とセックス  
しちゃった…っ!」

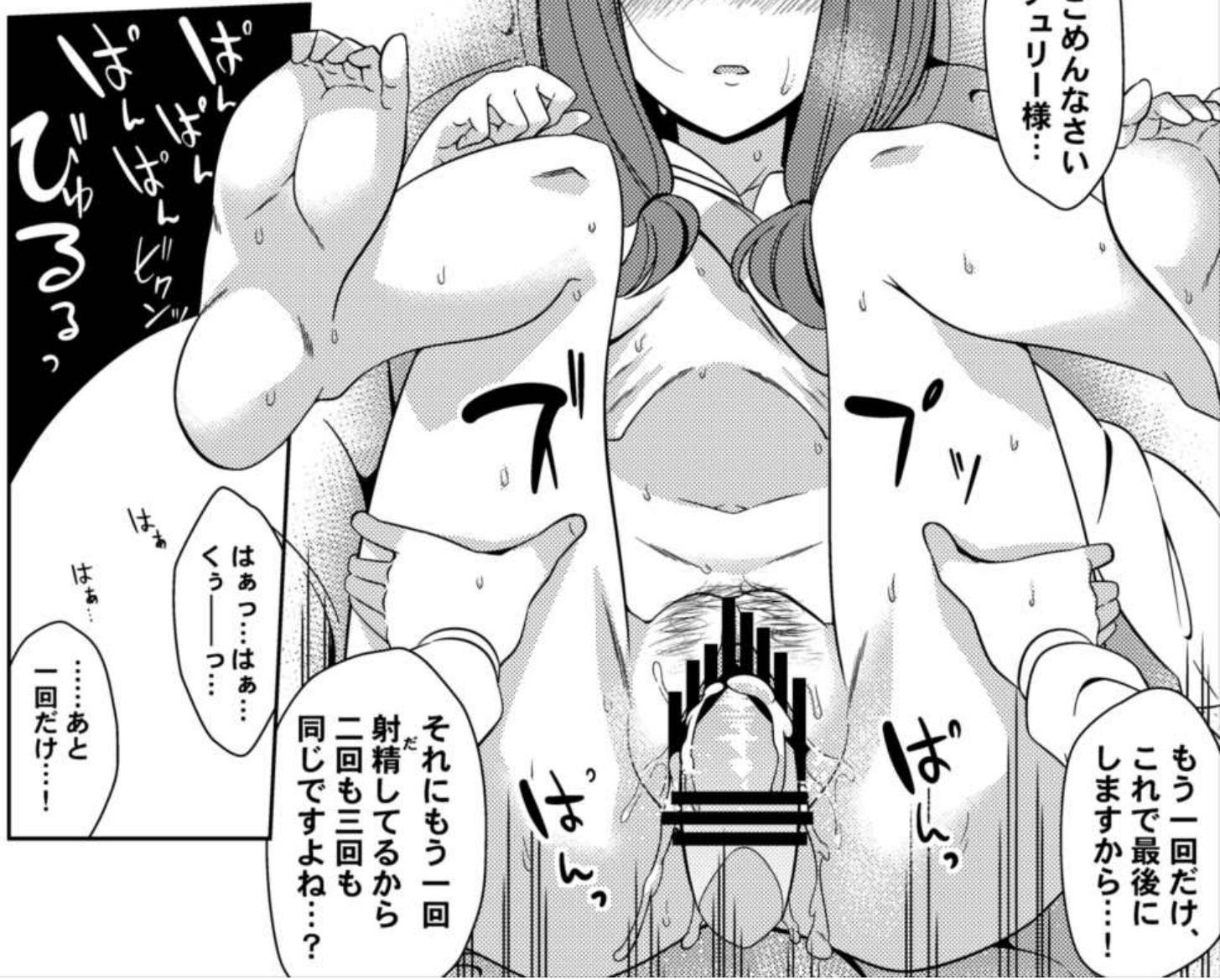
「パチュリー様の腔内なかぬるぬるで  
ぐねぐねうねうね…っ!!」

「もっ…  
もっと激しく…」  
「パチュリー様の奥まで  
突き上げたい…っ!」  
みち

はっ  
はっ  
はっ







ごごめんなさい  
パチユリー様...

もう一回だけ、  
これで最後に  
しますから...!

それにもう一回  
射精してるから  
二回も三回も  
同じですよね...?

はっあっ...はっあっ...  
くっ...はっあっ...

はっあっ...あと  
一回だけ...!

はっあっ...はっあっ...  
はっあっ...はっあっ...  
はっあっ...はっあっ...



…最近起きると  
身体に妙な感覚が  
残ってるのよね…



早く次の魔道書を  
読み進めなきゃ

また寝落ちして  
しまったわね…



…ん



そのせいであんな  
低俗な本にまで手を  
伸ばすなんて私も  
どうかしていたわ…  
疲れが溜まって  
いるのかしら？



ぬちゅの…

これって  
もしかして…!



…え？



…さて、  
新しい本を—







嘘……!?

私…男の人に  
すっぱんぼんに  
されちゃった…!

ぎゅう…

隠したいけど  
不自然に動くと  
起きてるって  
バレちゃうし…

恥ずかしい  
ところも全部晒け  
出しちゃってる…



じゃあ  
脱がせますよー

ちよっ…!?

かばあ



コイツなんの  
遠慮もなく…っ

いやー僕も  
パチュリー様の  
お召し替えに大分  
慣れてきたな

いつもこんな  
乱暴に脱がせて  
たっていうの…!?

ぬがし

ぬがし



前回からあまり間が  
空いてなかったから  
パチュリー様今日は  
おい薄いですねえ

変態…!!  
変態…!!

いやあああつ  
ニオイ嗅が  
ないでよお…っ

ギキッ



…でもまだ  
犯人だとは確定  
できないわね！  
決定的な犯行の  
瞬間を――

はっ  
ちゅるるる

おっぱい  
弄っちゃ  
駄目え…！

妙に敏感になって  
るのもコイツの  
せいだったのね…！

前言撤回!!  
やっぱりコイツが  
犯人だったんだわ!

こんな格好で、異性に  
見せちゃいけないとこ  
全部見られちゃってる…っ！

やだ…っ!  
そっちの方まで…!?

これ以上は  
もう…っ

…っ!?!  
なにこれ!?

身体中に電流が  
走ってるみたい…









それを身体が  
勝手に悦んじや  
ってる…っ!!

頭の奥の方まで  
オスのニオイで  
いっぱいなのに…



私をまるで道具  
みたいに…っ!!

こいつ…!  
こんな



口の中を好き放題  
犯されてる…っ!!

わたし…  
今

こんな下っ端  
小悪魔に



あ…  
や…やっぱり  
ちよっと待っ



え…?  
挿れる?  
おちんちん  
挿れられる?

…でもでも  
中に出されるまでは  
確証が得られないし…



へんな味…

—じゃあ、  
そろそろ本番に  
いきますね…!!

やっぱり身体に  
残っていた体液は  
コイツの…!!

何の遠慮なく  
口の中で…

ああっ  
また口の中に  
出しちゃった…



だめえっ！  
いきなり激し  
過ぎる…っ

声—  
漏れちゃ…



は…は…  
は…は…  
挿入っ  
っちゃ  
ったあ…



でっ…射精  
ます  
パチュリー様っ!!



今まで散々私の身体を  
勝手に弄ってきたんだわ…

私のおそこが  
こいつの形を  
覚えちゃってる…!



絶対に—

許せない…っ!!

許さないん  
だから…っ







身体が嬉しくて  
疼いちちゃってる...っ♡

コイツの性処理  
穴に作り変えられ  
ちゃってるんだ...!

パチュリー様  
僕の赤ちゃん  
産んでっ...!!



パチュリー様  
すきっ!  
大好きっ!!

そんな言葉...  
今囁かないでよあ...



はぁ...っ!!

悔しいのに...っ  
子宮降じて  
きちやってる...♡

受け止めて  
下さい...っ!!

なかに  
膣内に出しますね  
パチュリー様っ!!

あ  
あ









痛う…  
どうにか消し炭は  
まぬがれたけど…



…お！  
ようやく職場復帰か  
だからバレない  
ようにって  
言ったじゃない  
はあ…  
すみません

あ、それと  
パチュリー様が  
これからお休み  
になられるけど  
お召し替えには  
あなたをご使命  
してるよ  
—え、  
ええっ!?  
ど、どうして  
僕が…?

パチュリー様とは  
もうえっち出来なく  
なっちゃったなあ…  
すあ…

もーニブい  
んだから…  
ほら早く  
行ってきな



…失礼します  
パチュリーさま

この本をお手に取って頂きありがとうございます。  
初めまして、もしくはお久しぶりです。是乃です。

今回は一年半ぶりの成人向け本となりました。

と言っても基本的にギャグ漫画をメインジャンルに据えて活動しているサークルですので  
成人向けはこのくらいの頻度で発行するのが丁度いいのかもしれませんがね。

動かない大図書館ということでだらしない体型だったり不健康に痩せていたり差が激しい  
パチュリーですが、えっちな本になるとそのほとんどがぼっちゃりに偏っている気がします。  
そこで今回は敢えて細くて不健康で動かなさそうなパチュリーというコンセプトで  
描いてみました。

構想はいともたやすくまとまったのですが、実際に原稿へ着手してみると痩せ型体型に大苦戦。  
人体ってムズカシイですね。

しかし得られるものも色々あったので今後も口リからムチムチまで幅広く挑戦して  
いきたいと思います。

ルーミア本に引き続き自分の趣味を全開にした一癖も二癖もあるヒロインに加えプレイ内容も  
そこそこニッチだったので、読者の皆様を置いてけぼりにしていないかという不安が…。

それでもおいネタや強制脱衣等々今回のテーマでやりたかった内容はおおむね詰め込む事が  
出来たので後悔はありません。

今後も成人向けは嗜好の赴くままに描いていこうかと思っておりますので、  
もし気が合う方がいらっしやいましたらお付き合い頂ければ幸いです。

それではここまで読んで頂きありがとうございました。  
また次の本でお会いできるのを楽しみにしております。



あのパチュリー様を  
虜にするなんて  
あんたもやるじゃない

私達にも是非  
詳しく教えて  
欲しいわあ…？

でもさー  
パチュリー様の  
お気に入り  
手を出したら  
マズくない？

大丈夫ダイジョーブ  
先っほだけだから…！



**-お身体に触りますよパチュリー様-**

発行日：2016/12/29

原作：上海アリス幻楽団 様

印刷：トム出版 様

発行者：是乃(ぜのさいど)

blog: <http://zenoside.blog32.fc2.com/>

pixiv: <http://www.pixiv.net/member.php?id=25527>

mail: [greev-jeno-cider@piano.ocn.ne.jp](mailto:greev-jeno-cider@piano.ocn.ne.jp)

# 本書におけるパチュリーの生態

## SEX

必要なし。  
興味はあるが  
相手がいない。  
一度関係を持つと  
依存度高し。

## 目

年中消えない  
クマがある。

## 髪

ボサボサ。

## 胸

意外と  
柔らかい。

## 体型

やや不健康な痩せ型。

## ワンピース

寝巻きも兼用で  
一日中着てる。  
胸元までたくし  
あげられる。(重要)

## におい

古書と洗ってない  
女の子の香りの  
ブレンド。

## 下着

穿いてないし  
着けてない。

## 上着

ちょっと大きめ  
フード付き。

## 恥毛

薄めだが手入れ  
してないので  
とっ散らかっている。

## 靴

潰し履き。

# ぜのさいど